

兵庫県保険医協会 地域医療部・尼崎支部・文化部共催

落語&トークの夕べ

仏教・医療から考える “生きづらさ”の支えかた

参加無料

日時 2022年10月1日(土) 17:00 ~ 19:00(16:30開場)

会場 兵庫県保険医協会5階会議室(神戸市中央区海岸通1丁目2-31 5F 元町駅徒歩7分)

後援 兵庫県 / 神戸市 / 神戸新聞社 / 朝日新聞神戸総局 / 読売新聞神戸総局 / 毎日新聞神戸支局 / 産経新聞社 / サンテレビジョン / ラジオ関西

出演

つゆ まるこ
露の団姫 さん 

落語家・天台宗「道心寺」住職。2005年露の団四郎に入門。主に古典落語・自作の仏教落語に取り組んでいる。2021年尼崎市に「道心寺」を開山。年間250席以上の高座と仏教のPRを両立し全国を奔走。好きな言葉は「一隅を照らす」(伝教大師・最澄上人)



こう ういりゃん
高宜良 さん

精神科医。こう心療クリニック(京都市下京区)院長。1990年神戸大学医学部卒。2011年から兵庫県精神保健福祉センター参事、兼、兵庫県立知的障害者更生相談所参事。2022年5月こう心療クリニック開院



コロナ禍により、それまで減少傾向だった日本の自殺者数は増加に転じ昨年は2万1,077人となり、特に女性や若者の自殺が増えているとの報告もあります。今回は、僧侶として悩みを抱える方の相談活動や、自殺防止の発信をされている落語家の露の団姫さんと、精神科医として幅広い臨床経験を活かして「いのち」の回復力を大切に診療されている高宜良先生に講演をいただきます。また、お2人の対談や団姫さんの落語もお楽しみいただきながら、“生きづらさ”の乗り越え方について考えたいと思います。ぜひご参加ください(地域医療部長・尼崎支部長・文化部副部長 綿谷 茂樹)

お問い合わせは、TEL:078-393-1809 兵庫県保険医協会 文化部担当事務局 吉永 まで

【来場参加申込み】 【FAX:078-393-1802】

お名前

医療機関名

【 】人で参加する

TEL

FAX

【ZOOM視聴申込み】

URLまたはQRコードから前日までに登録ください

<https://bit.ly/3vVyGc1>



兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

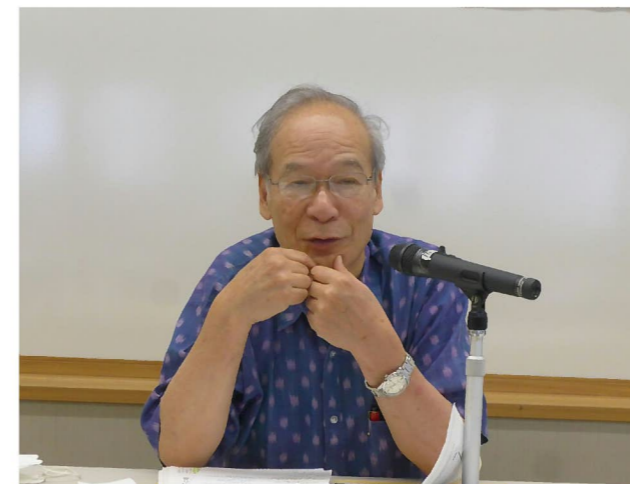
425号

2022年9月15日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第51回支部総会を開催

うつ病も発達障害も増えているのか？



精神科でノンフィクション作家でもある野田正彰先生が講演し(写真上)、参加者からの質問が相次いだ(写真下)

尼崎支部は7月23日、尼崎商工会議所で第51回支部総会を開催。議事では、2021年度活動報告と2022年度活動方針案、支部役員補充を承認した(活動方針案は2面に、新支部役員体制は3面に掲載)。

市民公開の記念講演では「うつ病も発達障害も増えているのか？」をテーマに、精神科医・野田正彰先生が講演し、会員、会員医療機関職員、児童発達支援事業所職員など25人が参加した。

野田先生は、1990年代後半から20年間、製薬会社と精神科医による「うつ病」宣伝が始まり、「お父さん、ちゃんと眠れてる？もしかしたら、うつかも」という巨大キャンペーンが行われて、抗うつ薬、入眠剤、向精神薬の売り上げが急増していった歴史や、その後「発達障害、自閉スペクトラム症」が宣伝され、注意欠陥多動性障害の薬剤の売り上げが急増していることを紹介。また、病態がはっきりしていないにもかかわらず、「うつ病」や「発達障害」として医療の対象にされているケースが多いと警鐘を鳴らすとともに、

今年の4月から40年ぶりに高校教科書に精神保健が復活して精神病の予防に関する記述が復活するなど、教育面でも看過できない状況になっていることを紹介した。その上で、精神科医は患者さんがどう生きたいかをしっかりと聞き取ることが重要だと述べた。

(1面のつづき)

【参加者アンケートに寄せられた感想】

- 子どもへの安易な発達障害の決めつけが本人のみならず家族へも多大な悪影響をもたらしたことは理解できました。(障害者就労支援機関の職員)
- 発達障害についてよく考えたいと思いました。“その人がどう生きていかを聞いてあげること”人に寄り添う上でも大事だと思います。(医療機関職員)
- 児童の障害についての勉強もしたいです。(相談支援専門員)
- お医者さんも大変だと思いますが、現場で見聞きする精神科医と患者さんとのやりとりはもっと興味深いものでした。診察室の中で“患者さんが訴える、その向こうにあるもの”を是非感じてあげていただきたいです。(障害者就労支援機関の職員)

兵庫県保険医協会尼崎支部 2022年度活動方針

- 1、経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
- 2、地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
- 3、在宅診療や介護保険に関する研究会、保険請求事務講習会などを企画する。
- 4、医師、歯科医師をはじめ、職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
- 5、住民の要望に基づき復興住宅での健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
- 6、職員対象の医療安全対策研修会や接遇研修会などを企画する。
- 7、市民企画として、地域医療部と文化部と協力して、露の団姫さん(落語家・尼僧)と高宜良先生(こう心療クリニック院長)を招いて、「仏教・医療から考える“生きづらさ”の支え方」を10月1日に開催する。
- 8、医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に参加する。とりわけ、所得制限を設けずにすべての中学3年生までの子どもの医療費を無料にすることを求めてあらたな署名運動に取り組む。
- 9、「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に参加し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。
- 10、会員間の交流を深める文化行事を企画する。
- 11、支部ニュースの毎月発行に努める。

(3面へつづく)

(2面のつづき)

兵庫県保険医協会尼崎支部(敬称略・五十音順)

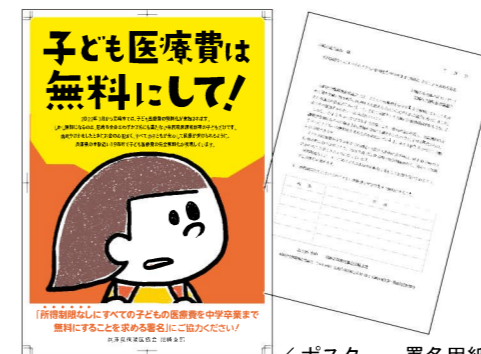
- 【支部長】 綿谷 茂樹
- 【副支部長】 西原 弘道(筆頭) 長谷川吉昭
- 【支部幹事】 朝田 真司 阿部 勝也 大塚 誠治 木村 祐子
小泉 民雄 高 光重 合志 明彦 鈴木 克司
高田 正 高原 周治(新) 畠中 輝昭 細見 基信
堀尾 俊治 前田 重人 増田 勉 増田 理恵
町塚 博文 松田 哲一 森川 高司 山内 道士
山下 秀明

兵庫県保険医協会役員(敬称略・五十音順)

- 【理事】 小泉 民雄 木村 祐子 西原 弘道 綿谷 茂樹
- 【評議員】 高田 正 長谷川吉昭 畠中 輝昭 増田 理恵
森川 高司 山内 道士
- (予備) 高 光重 鈴木 克司
- (歯科) 阿部 勝也 大野 良子 木原美智男 富澤 洪基

子どもの医療を受ける権利を守るために！！

所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学卒業まで無料化を求める署名にご協力ください



＜ポスター・署名用紙＞



＜パンフレット＞

尼崎支部の先生方へ署名用紙と院内掲示用ポスターを7月末に発送させていただきました。署名は11月下旬まで取り組み、12月市議会に提出予定です。なお尼崎市外の方にもご署名いただけます。

「こども医療費助成と福祉医療2022」パンフレット(A6版)が完成しました(9月5日付兵庫保険医新聞同封)。待合室に置いていただくなど、是非、ご活用をお願いいたします。署名用紙・院内掲示用ポスター・福祉医療パンフレットのご注文は、担当事務局の石本・沖野(Tel 078-393-1805)まで。